

本音の
コト



「このたびは市民とともに歩み自立したNHK会長を求める会」よりNHK会長候補として「推薦をいただいた。浅学非才にして放送業の経験のない僕だが、ぜひとも会長になってほしいとの熱心なご要請があり、ほかにも適任者がいないのならと決断した次第である。」

NHK会長候補の弁

「一〇〇一年には従軍慰安婦問題を扱った番組が政治の圧力で改変される事件が起きた。一四年には財界出身の会長が「政府が右と言うものを左と言っわけはいいかない」と喜平を吐いた。一七年の加計問題では真っ先に優を取材した中にNHKの社会部記者がいた。彼らは「総理のご意向」が記された文書も入手して出し、僕の証言映像も撮っていたが、それらは一切ニュースにできなかった。放送の公共性とは人々に真実を伝えることであって政府に従うことではない。NHK会長の任務は現場の自由を保障することだ。放送のあるべき姿に向けて「石を投じることができるなら望外の喜びである。現代教育行政研究代表会」

2022.11.6

こんな会が誕生していた。
「市民とともに歩み自立したNHK会長を求める会」

この会の会長にご存知、前川喜平氏が就任されるようだ。ネット署名を進めています。ネット検索で会のHPに入ってください。(記事は東京・中日新聞)

安倍元総理の闇は報道されない。死者に鞭打たないのは日本のお行儀か。続々出て来る旧統一教会の実態と被害。海の向こうはプーチンの戦争、失敗続きだが露辞書にはないようだ。(周)

◆ 目次

川柳互選・課題吟「残」	2
自由吟	3
推薦句の短評	5
川柳×E 鶴彬の作品	7
ほのぼの川柳・おたより	8
亀公子の《川柳ひと言》	8
竹久夢二「東京災難書信」⑫	10
一口法話「功德」	11
統一教会で揺らぐ岸田政権	12
「時事川柳」を考える	14
編集後記を兼ねて	16

皆んで選んだ
今月の秀句

残されたアベノマスクと国葬費
信仰で家庭に残す不和貧困
失敗もロシアの辞書にないような

小山宏助
寺内撤乗
周立東爺

来月例会案内

11月例会 11月24日(木)
投稿締切 21日(月)
課題「信」 3句以内
自由吟 5句以内
自選句、自解筆もよろしく。

10月の
川柳互選

◆ 点の付け方

推薦句◎…2点、準推薦句○…1点
◎3句以内。○全体の半数以内。

◆ 課題吟「残」(互選)

一人3句以内吐

(投句14人/18人の互選)

- 神の贈りもの残波岬は沖繩に
- 1 滅亡の残り時間はいくばくか
- 2 また残ったか煮物を睨む冷蔵庫
- 2 小野氏は軍隊の 残飯焚いて貧民に
- 2₁ 残念だやっぱ汗の量たろう
- 3 借入残財政危機の円安化
- 3₁ 毎日が心残りの連続だ
- 4 残酷なミャンマー軍は擁護して
- 5 ミサイルへ残骸空しウクライナ
- 未知子 高坊 ひろみ 未知子 ダン吉 尊柳 北の山 一角 尊柳

- 5 残暑見舞い届いて明日毛布出す
- 5 残酷だプーチンの野望戸惑う民
- 6 敗残兵熱帯雨林に命がけ
- 6 習独裁残留孤児はどうなった
- 6 ロシアの栄光悲しみ憎しみだけ残す
- 6 残りなし極寒迫るウクライナ
- 6₁ 物価高残り物の豪華版
- 7 残忍なプーチン慕う子分たち
- 8₂ サービスの残業などと忌々し
- 9 しっぱ切りしっぱ他にも残ってる
- 9 集団墓地残し退散惨敗兵
- 9₁ エセ宗教洗脳議員のみ残し
- 9₁ 上野地下まぶたに残る子どもたち
- 9₁ フクシマの遺恨デブリは水の底
- 10 カルト教居残り大臣および腰
- 10₂ 残百秒 終末時計の指す未来
- 10₃ 核戦争宇宙に残す死の地球
- ひろみ 未知子 白眞弓 尉 撤棄 立東爺 白眞弓 一角 尉 撤棄 立東爺 白眞弓 一角 尉 撤棄 立東爺 白眞弓 一角 尉 撤棄 立東爺 白眞弓

10¹ 残業代物価高には負けました 宏助

11² 票ほしき残酷にツボ利用する 宏助

11⁴ 廃屋が点点村は名前だけ ダン吉

13² 出る一方残る金などありやしねえ 高坊

13³ 残された者が受け継ぐ不戦の灯 亀公子

15¹ 過労死の残業減らぬ日本国 尊柳

15² ウクライナ残る市民に迫る冬 立東爺

16⁵ 店閉めるお知らせ風に震えてる ダン吉

17⁵ 信仰で家庭に残す不和貧困 撤乗

18³ 残されたアベノマスクと国葬費 宏助

◆自由吟（互選）

一人5句以内吐

（投句14人／18人の互選）

1 中国へバブル崩壊免れる 尊柳

1 日本の安売りバイマイアベノミクス 撤乗

1 自民党なら公明党となぜ一緒？ 小さ子

◆点數表記について

点數右下の小さい数字は、2点句◎に推した方の数です。

1 小野太三郎福祉の先駆者金沢で 未知子

1 解散にげひやる力試される ダン吉

1 川柳は安易に政治追うなかれ 尉

2 頑固者周りの勧めも横に振る 立東爺

2 日中の首脳会談待ち望む 尊柳

2 刻々と変わる雲の真実は 白眞弓

2 とりあえず窓だウクライナに冬が ダン吉

2 中国の民主化手立てないものが 尊柳

2 ワクチンの中身を知って後悔し 高坊

3 問い続けたい野田ずつと野党なの？ 撤乗

3 新庁は全て家庭の責任に 白眞弓

3 年寄りを置いてけぼりするDX 高坊

3 習主席の個人崇拜懸念する 尊柳

3	二等国ならばリニアをやめる時	白眞弓	6 ¹	亡きあともさらに金食うアベマスク	尉
3	持ち家手放し高齢者向き住宅へ	尉	6 ²	煽るだけ煽って進む迷い道	立東爺
4	五輪獣のヤマタノオロチ成敗じゃ	亀公子	7	ドクターも初老お大事にと帰る	ダン吉
4	焼け跡に柳樽出し湯浴みした	未知子	7	宗教と政治は別と言うは嘘	小さ子
4	自販機も十円高くなりました	一角	7	維新の会党の目的見え隠れ	未知子
4	壺に税上げいかげんに目覚めろよ	高坊	7	紅葉の見所のない永田町	高坊
4	窓の傍で陽に手を合わせ家族待つ	ひろみ	7	達者でも脳がまごつく高齢者	ひろみ
4	中国の格差頭痛の種になる	尊柳	7 ¹	年金に安息がない物価高	宏助
5	もう飽きたコロナ対策新種株	白眞弓	7 ³	車椅子三台町のバスツアー	ダン吉
5	火を噴いたアルマゲドンが喰う地球	亀公子	8	ウクライナ極寒すぐそこ生きてくれ	未知子
5	買い貯めたみそもそろそろ尽きるころ	一角	8	五輪汚職このグループも金まみれ	小さ子
5	あの世では舌を抜かれて丸坊主	亀公子	8 ¹	杉田水脈敗訴で恥の厚化粧	高坊
5	家庭連合の理念に共鳴保守議員	撒乗	8 ¹	国賊は妙に的を射た言葉	撒乗
6	知らぬ間に日本に潜り込む宗教	小さ子	8 ³	国民を舐めた疑獄のなれの果て	亀公子
6	プーチンの家族は安全国外で	未知子	9	別居して犬の情けに救われる	尉
6	戦況をたどれば後悔先立たず	立東爺	9	神様も出口示せぬウクライナ	立東爺
6	旧兵器在庫一掃ウクライナ	尉	9 ¹	自民党統一教会謎隠し	宏助

9₁ 悪霊の憑いた神輿は重かろう

亀公子

9₁ がん細胞我を食いつつ成長す

白眞弓

10₂ 子育ての親に夢ない日本の現状

心ヤ子

11₁ 茶番です自公維新の自浄など

一角

11₂ 骨までも食べつくすほど高物価

一角

12₂ 千の風ウクライナの空包み込む

宏助

13₂ 鶴彬朝日川柳にがわらい

一角

13₃ 国葬の翌日父の家族葬

ダン吉

13₃ 正論を言えぬ言わせぬ法治国

宏助

15₃ 長生きはよい事ではない時代

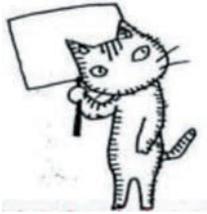
宏助

15₅ アベノミクス円安という置き土産

撤乗

16₄ 失敗もロシアの辞書にないそうな

立東爺



◎◎ 推薦句への短評 ◎◎

◆ 課題「残」 ……………

残業代物価高には負けました 宏助

● 残業代が物価高に負けてもなおかつおとなしい日本の労働者、海外からはストライキの掛け声も聴いてるのに（一角）

出る一方残る金などありやしねえ 高坊

● この吐き捨てる表現は今の庶民の内なる思い。年金者には更に医療費引き上げの悪夢が待つ。「早く死ね！」と言わんばかりの政治だ。（亀公子）

ウクライナ残る市民に迫る冬 立東爺

● 冬が来るのに合わせ、プーチンはウクライナのインフラを攻撃し始めた。人民をどこへ死にさせる作戦らしい。（亀公子）

エセ宗教洗脳議員のみ残し 心ヤ子

● プーチンの始めた戦争は今、SNSでもリアルタイムに私は宗教者のはしくれたから、やはり統一教会と政治家たちの利用関係が気になる。統一教会は国

民の福利を著しくこなっているので、宗教法人格
をできるだけ早く取り下げてほしい。(亭之)

核戦争宇宙に残す死の地球 亀公子

● いずれ太陽が肥大化し地球は消滅する運命なのだ
が、プーチンの戦争は地球生命絶滅への引き金にな
りかねない。残った後は死滅した青い地球だ(立東爺)

◆自由句 ……………

長生きはよい事ではない時代 宏助

● こんな目に誰がした(尉)

国賊は妙に的を射た言葉 撤棄

● 言い得て妙。しかも身内から(尉)

骨までも食べつくすほど高物価 一角

● フードロスの余地なし(尉)

千の風ウクライナの空包み込む 宏助

● ウクライナに吹く風は幾千幾万の悲しみを
載せて吹くはずだ(立東爺)

ほのぼのの川柳

嬉しいな全国大会行けるのは 神田鯛

頑張ったご褒美焼き肉美味かった 神田鯛

何事も乗り越えて行け我が子達 神田鯛

雪予想当たり外れのご愛敬 東爺

おたより

◆平野喜之さんより (かほく市高松)

私は、統一教会の解散を求めるネット署名の呼
びかけ人の一人である。統一教会が国民を苦しめ
る団体であることを知りながら放置してきたのは
政治家たちの罪だと思ふ。その罪の償いとして統
一教会から宗教法人格を取り上げるべきであるオ
ウムの幹部たちに罪の償いをさせるために死刑を
執行した。その前日に飲み会をして喜んでいた自
民党の政治家を許せない。今度は彼らが罪を償う
べきである。

川柳 ×モ

尾藤三柳『完全版 時事川柳』

鶴彬についての文章抜粋

『文鏡秘府論』という書物の中で、空海は「目撃」ということをいつている。ただ見るだけでなく「目撃ツ」、つまりものの本質にまで目を届かせる、ということである。その「目撃」の一点をあやまたずにとらえなければならぬ。一例を挙げよう。

エノケンの笑ひにじびく暗い明日 (昭和12)

この作品が不朽の生命を持つのは、単に迫り来る戦争を予見したということにとどまらない。日に日に緊迫の度を加えていく時代の流れを、線として着実に追い続ける視線があつて、その中から前景の一点を、風景として結実させたという点にあり、この風景の背後では、なお時代は流れ続けているということである。これが動体視力の典型である。

手と足をもいだ丸太にしてかへし

日中戦争勃発の年の反戦句六句のうちの一つ。昭和

和の初めから無産者川柳を唱えた作者はこの年に検査され、拘留中二九歳で病死（昭和一三年九月）しました。新興川柳の象徴的存在でした。

川柳の「寓意法」について

ふつうに用いられる寓意法と同じで、比喻の一種です。もとの風景と、喩としての寓意的風景との間には、計算された論理が働いており、特に思想的なモチーフの表現技法として、昭和前期の鶴彬などが多用している方法です。

暁を抱いて闇にある畜

蟻喰いの糞殺された蟻ばかり（連作「蟻喰い」）

前句の「暁」を革命の栄光、「闇」を解放前の暗い時代の暗示ととれば、「暁」は非抑圧階級であることが分かりますし、後句も「蟻喰い」を資本家、「蟻」を労働者の寓意と見れば、一句の風景はおのずからはつきりしてきます。

川柳連作「酷葬儀」

遠田亀公子

ツボ議員息を殺して酷葬儀
国会を二度もスルーの酷葬儀
酷葬儀主役になった自衛隊
酷葬儀政府もろ手の恥三昧
番犬とカラスで占める酷葬儀
国をあげて世界に晒す酷葬儀
恥の字が上に乗っかる酷葬儀
国民と目線が合わぬ酷葬儀
酷葬儀終わって見れば消えぬ痣
品格もプライドもない酷葬儀

亀公子の「川柳ひと言」

第10回「鶴彬のふるさと 高松歴史街道フェスタ」が終わって一カ月がアツという間に過ぎた。フェスタについての詳細は「鶴彬通信 はばたき」42号で紹介されると思うので、今回のフェスタの中の企画展「鶴彬の川柳から 左手のアーティスト川

崎裕長が描く世界」について、私が担当したので少し書いておくことにする。

.....

川崎さんとは縁あって40年以上の付き合いがあり、昔はよく飲んだ中でもある。川崎さんには神山監督の映画製作後「生誕百年記念祭と映画「鶴彬とこころの軌跡」製作の記録「鶴彬 はばたく」(2009年10月20日発行)に大変お世話になった。B5版205頁のこの冊子は発行後すぐに売り切れ、現在は入手困難な資料の一冊になっている。

川崎さんは6年前脳出血に倒れ、再起が危ぶまれたけれど、持ち前の気力と底力を発揮、右半身不随ながら左手を駆使して以前のような絵とデザインに挑戦し続けているアーティストと自認する。

私は川崎さんに連絡を取り「鶴彬の川柳の中から彼の作った蟲、鳥、動物の句を全部選んで持って行くから絵にしてくれないか」と注文した。突然のことに悩んでいる様子だったが、「これは鶴彬のフェスタの目玉にしたいから」と説得、川崎さんは別の仕事も抱える中で「それじゃあ句を見て10枚ぐらいなら」と承知してもらった。それが7月中旬。

でも絵は9月初めには出来上がっていた。「これ

でいいか見に来て」と言うのでドキドキしながら飛んで行って見た絵は私の思いを遥かに越えていた。川崎さんの想像力と表現力の豊かさがもろに出ている一作一作だったからである。そして、そこには鶴彬のこころと彼の句の思いを絵とのコラボで浮き上がらせてくれていたということもあった。

川崎さんの選んだ句は次のようなものだった。

・大正13年（15歳）

一 跳ね一 跳ね魚の最後が刻まれる

・大正15年（17歳）

猫の眼はついに闇をば知らずで果て（左上参照）

・大正15年（17歳）

血を吸うて血を吸うて死ぬ蟻た

・昭和2年（18歳）

怒りける犬は鎖の限り出る（左下参照）



作品 11 点は鶴彬資料室で展示中。

・昭和3年（19歳）

干鰯の如く民衆眼をぬかれ（左中参照）

・昭和3年（19歳）

毒蜘蛛の網を乗っ取る蟻の群れ

・昭和10年（26歳）

鼠泣きおほえてありつく飯よ、白い飯！

・昭和11年（27歳）

生き残る蟻の凱歌に孔雀の死

・昭和12年（28歳）

金の卵を産む鳥で柵に可愛がられる

・昭和12年（28歳）

正直に働く蟻を食うけもの

・昭和12年（28歳）

バイブルの背皮にされる羊の死

絵は9月17日18日・19日の三日間高松産業文化センターの会場で展示された。鶴彬をこうした視点で見るのは初めての試みと思う。会場には市民川柳に応募入選した小学生中学生が賞状や景品を取りに来たついでもあって、父兄と共に鶴彬の句と絵を鑑賞して行く姿がたくさん見られた。川崎さんも17日に夫婦や親せきの方々と共に来て行かれた。

現在、作品は交流館3階の鶴彬資料室に展示中。

連載

東京災難畫信

竹久夢二

十三、廢園

やさしい小径は、木々の緑がおのづから蔭をつくり、花壇の中には四季折々の花が咲きみだれ、大きな花のやうなパラソルは、肩の上で廻りながら歩いてゆく。また夏の宵は、多恨の若者が青いベンチで銀笛を鳴らしてゐる。そのかみの日比谷公園を、今は見るよしもない。

かしこのベンチ、ここの木の根には、歩み疲れ思ひ疲れた無宿の旅人が、知るも知らぬも黙々として坐つてゐる。地震が来やうと、火事が来やうと、もうびくともしないといふ格好である。

「死んでゐた方が好うござんした」命だけやつと持つて逃げ出した人は、この人もあの人もみな一様にさう言ふ。

生命や財産が、ますます惜しくなつて戒厳令を二年でも三年でも布いて置きたい人もある。

何にしても、我々は、我々の持場で、最も好く働かねばならない。



都新聞 大正十二年九月二十六日 水曜日

戦争前夜の竹下夢二は2020年会報9月号〜11月号参照

《投稿》

一口法話

美川・浄願寺 藤塚 曼



功德 その人からあふれ出てくるはたらき

神は厳しく、仏は柔らかいという話を書いてきました。が、仏法を学んで柔らかさが身につくと、それは功德として現れるのです。

厳しさは、自分の考え方や立場を正しいとするところから生まれます。それに対して阿弥陀仏の教えは、人間の愚かさを自覚するところから始まるのです。ただしこの自覚というのは、ただ知るとか理解するという事ではなく、人の愚かさを受け止めることが出来るようになることをいいます。ですから愚かさを自覚した人は、安易に自分の正しさを主張して人を厳しく否定しなく否定しなくなるのです。

テレビのコメンテーターのように、自分を正しさに置く人はそうでない人に厳しいのです。あの人は仕事のパフォーマンスですが、あれを

日常や家庭でやったらたいへんです。

人は自分に都合のいい正しさを主張し、自らの愚かさには蓋をします。そういう人の出すはたらきを偽の功德をいいます。

いくら溢れ出ても誰も癒やされないので。

お勤めの最後に願似此功德と言いますが、この功德を少し考えてみませんか。

良識、良心のある反戦を訴えた人たちが、国家権力により弾圧されたことも共通しています。鶴彬は反戦川柳を発表したため、逮捕され翌年獄死しました。ロシアにも、生放送中に反戦のテロップを掲げた勇気のある女性もいましたし、侵攻当初は反戦の抗議活動も活発にありましたが、今はロシア政府が監視、弾圧を強めたため、ロシア国内ではそのような反戦活動は広がりを見せていません。良識、良心のある人たちが沈黙することにより、全体主義に拍車がかかり、たとえ国民の生活が苦しくなり、自国の戦死者が大勢出ようとも、引き返すことはますます難しくなり、地獄への道へと突き進んでいくことになります。

統一教会で揺らぐ岸田政権

統一教会問題が国を揺るがしている。

次々に新しい事実が発見され、驚く話が次々に出て来ている。

自民党の議員の多くが統一教会の支援を受けて当選し、内閣の中からも次々に疑惑大臣が出て来て、辞めている。

なぜこうも自民党議員が統一教会に染まっていったのか。

新しい事実の中にとびきり重要な資料が統一教会の教祖・故文鮮明の発言録が日本語に翻訳された。『文鮮明先生マルスム（み言葉）選集』の中で、「神は人間を神の側に取り戻す計画を考え、救世主を派遣した。その救世主がイエスであり、イエスの死の



あと、新しく派遣された救世主が自分・文鮮明であると説く。また、「韓国を36年間植民地支配した日本は『サタンの国』であり、贖罪しよくざいのために日本人は寄付をしなければならぬ」と子供だましの教義に取り込まれた信者は霊感商法と献金で被害者を増やした。

更に、文鮮明の日本政治への介入は衝撃的である。文鮮明は傍流だった岸信介↓安倍晋太郎↓安倍晋三に対し選挙協力し、清和会は森喜朗、小泉純一郎、安倍晋三という首相を生んで主流になっていく。政権をとって、予算を韓国へ流すことも指示していた。「清和会はキワモノ的政治家の集合体だった」（佐高信）。統一教会に染まる議員の多くが清和会である。

まさに、自民党の統一教会汚染を一掃することし日本政治は浄化されない。選挙で采配するなど、政界のドンであった故安倍晋三の影響を断つことが日本政治の再生に不可欠の筈だが、岸田総理、ずっと揺れ続けている。聞き上手だけでは解決しない。

尾藤三柳著 「完全版時事川柳」

を手がかりに『時事川柳』を考える

周 立東爺

朝日新聞の川柳欄で「時事川柳」なる言葉がクローズアップされた。

時事川柳なる川柳は時事をテーマにした川柳なのだが、意外と奥が深い。故人となられた尾藤三柳氏の「完全版時事川柳（新葉館出版）」を参考に時事川柳を探っていききたい。

時事川柳を標榜した川柳会もあり、新聞でも時事川柳欄を設けているところもある。しかし時事をテーマにした作品には鑑賞に堪えないものも多い。

鶴彬の作品を時事川柳と誤解されている人も多いと思うので、まずは川柳とは何か？ 時事川柳とは何か？ 尾藤三柳先生に教えていただく。

川柳を考えると、「諷刺」の理解がまず重要。二五

〇〇年前の中国で世界初の詩歌集が編まれた。『詩経』

である。孔子がまずまとめ、それを毛氏が編纂して伝えられたので『毛詩』とも言われる。

有名な「上以風化下 下以諷刺上」（お上は詩をもつて下々を教化し、下々はお上を諷刺する）の言葉が諷刺の語源である。後に諷が風と使われているが、風刺の元は諷刺であることを強調しておきたい。詩なのである。

日本の時事川柳の始まりは、週刊『團圓珍聞』（M10年）の読書欄からである。

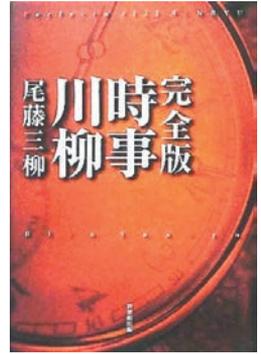
当時の政治を風刺、筆禍の圧力にも屈しなかった。西南戦争を詠んだ句がある。

西郷はもう高盛りの枕飯

川柳史の上では新聞《日本》M22の《新題柳樽》が近代川柳のスタートとされている。

タブロイド判日刊紙として大正3年まで続刊された政治専門紙で「発行停止」の回数売り物のような硬派新聞で時事ネタを句にした。

初期には主筆の古鳥古洲は読者投句欄を阪井久良



布をテーマにした句。

有礼が無礼の者にしてやられ

(明治憲法発布の日に、初代文部大臣・森有礼が国粹主義者に暗殺された。)

時事は時事吟と呼ばれ、古風吟、懐古吟、花柳吟などと共立していたが、第二次世界大戦後、川柳の独立ジャンルとなり、ジャンルとして確立したのは川上三太郎選の《よみうり時事川柳》開始だとされる。日本の代表紙が欄を設け、欄名に「時事」をうたい、新聞第一面に据えたこと、選者に当代の第一人者を選んだことで、時事をテーマに独自に進化していったのが時事川柳の歴史である。

木、正岡子規に担当していたが、古鳥は気に入らず二人を外して井上剣花坊に依頼した。明治憲法発

きて、ここで押さえておきたいこと。時事川柳は時事の中身「時」線・流れ」の中で「事」点」である事象(事件など)を捉える。

紛らわしいのは、風俗と時事の区別である。

役人の骨つぼいのは猪牙ちよぎに乗せ

(古川柳 堅物の役人は船に乗せて吉原へ
 現在でも通用する懐柔策である。)

これは諷刺であっても風俗批判で、特定の事象を捉えた時事諷刺ではない。

筆者の経験から

筆者が川柳を始めたきっかけを少し紹介したい。高校生の頃から、古川柳に親しんでいた。長じて鶴彬の作品を知ったことがきっかけだった。

鶴彬の句を社会(戦争)批判精神の短詩として理解し鑑賞したが、社会諷刺であっても時事川柳として見たことはない。事実、個別の事件を詠んだ句はほとんどない。だから鶴彬を「反戦川柳人」と呼ばれることを嫌う。反戦川柳人と呼ぶのは鶴彬に失礼、申し訳な

いとも思う。鶴彬は短詩芸術家だと思っからである。彼の社会を見る目は芸術家、作家の目である。

高鶴礼子氏は「鶴彬を無二の川柳作家／表現者」であると表現された。これは鶴彬の全作品に目を通せば理解出来るが、どの句も高い水準の短詩である。

「時事」をどうとらえるか

「時事川柳」というときの「時事」をどうとらえるか？

「時事」の「時」は現在。「事」は客観的事実を指す。「時事川柳」とは、目の前の事象を時事性で捉え詠む。作者と読み手の時間的関心の一致が重要である。

だから時事川柳は絶えず新しい対象を求めて、時代を詠む。単に新聞の見出しを引き写した「時事」ではなく、事象と作者の態度が、注ぎ込まれた「時事」を詠む。時事川柳には事象に対する作者の態度が必要である。反対なのか賛成なのか。これが伝わらないのは「時事報告」になってしまう。

時事川柳の特性として当面の事象に対して、批評的もしくは批判的な角度でのぞむことになるため、時事

川柳は一般的に諷刺的な姿を取るようになる。時事諷刺の前提となるのは、何よりもまず客観的的確な対象の把握で、これが出発点となる。

次に、諷刺の根底には批評精神があり、第三者的傍観者の位置に甘んじてはいけない。しかし過度の主観性は一方通行になりやすく作品として失敗する。

気を付けたいたいのには「一言居士」や「小言幸兵衛」にならないこと。妥協のない目は、ひとしく自分自身にも向けられる。政治をけなし、社会をそしめることは、同時に自分自身をも傷つけることになる。諷刺や批判は、自分もまた痛みを感じることで始めて成り立つものと心得ること、それに気がつくことである。そして時事川柳であっても短詩であることを忘れずに情緒を大切にしたい。

鶴彬は批判と情緒について、次のように書いている。
「すべれた川柳とは、諷刺的な批判と情緒的な情熱がびったり溶けあった場合に生まれるものなんだ」

(つづく)

編集後記を兼ねて

▼ウクライナ戦争でロシアの劣勢が伝わり、第三次世界大戦が現実味をもって地球を覆っている。▼日本ではコロナ禍と物価高の中、旧統一教会問題で政界が大揺れ。原研や勝共連合が統一教会↓世界平和統一家庭連合と名を変え、政界をも巻き込んでいます。▼その中心で采配していた故安倍元総理の調査報道がまったくくない。岸田総理の聞く能力「鶴彬を顕彰する会」の通信「はばたき」の購読をおすすめします。年購読／2000円です。

11月例会ご案内（毎月第4木曜日）

- ◆例会 11月24日（木） ◆投稿×切：21日（月）
- ◆課題 「信」 3句以内 ◆自由吟：5句以内
- ◆自選吟、連作、エッセイ、川柳論などもよろしく。
- ◆オミクロン株警戒で例会は誌上となります。

- 投稿FAX (076) 254-0762 郵送は
- メールアドレスは下段へ。 下段住所へ。

「和川柳社」会報
会員募集しています！

同人：4000円 / 年
投句 / 購読：2000円 / 年

振込は下記へ。

に赤信号が灯っている。▼「忘れました」という大臣や政治家の多いのにあきれ果てる。認知症じゃあるまいし、辞任だけじゃ済まない。政治家も辞め静かに静養をお勧めしたい。▼認知症といえば、アルツハイマー対応の薬が保険適用になったと聞く。現在は東大病院だけが来年には全国で使われるとか。▼ちようど川柳愛好家の多くが高齢者のようだし、頭を鍛えるために川柳で社会のひずみと人生の喜怒哀楽を文字にして残そうではないか。（周）

和川柳社 〒920-0335 金沢市金石東2丁目15-30 (3-2) (渡辺 寛)

電話 FAX：076-254-0762 PC-mail：kananabe@popolo.org

携帯：090-9445-1302 携帯 mail：kan-wata@i.softbank.jp

振込先：北國銀行中央市場支店 #191 普通 640 「和川柳社」